

地域とつながる「教育改革」

地域と一体となつて子どもたちを育てる――。コミュニティ・スクール始動

町内各学校コミュニティ・スクール始動！

3月1日（土）から町内各小・中学校がコミュニティ・スクール指定校としてスタートします。コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の住民が共に知恵を出し合い、協働しながら子供たちの豊かな成長を支えていく「地域と共にある学校づくり」を進める取り組みです。保護者や地域の住民に「一定の権限と責任を持つて学校運営に参画」してもらうことにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現に向け、取り組むことを目的としています。

コミュニティ・スクールの仕組み

指定された学校には「学校運営協議会」が設置され、教育委

員会から任命された保護者や地域の住民などが、学校運営の基本方針を承認したり教育活動について意見を述べたりすることを通じて学校の様々な課題解決に参画していきます。

学校運営協議会の権限

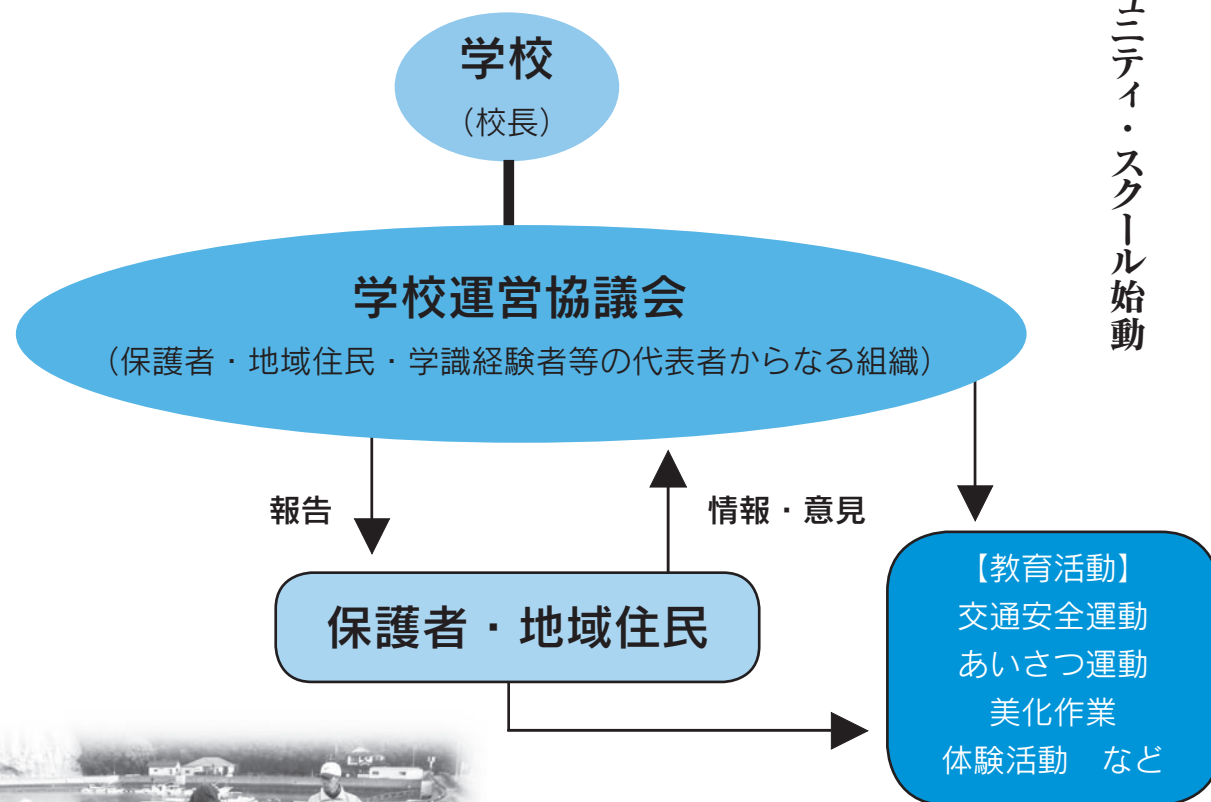
●校長の作成する学校運営の基本方針の承認

学校の重点目標や年間の学校行事計画などの基本方針について、校長の説明を受け承認

●学校運営に関する意見を校長に述べられます

「挨拶の指導に力を入れてほしい」、「もっと地域に協力を求めてほしい」などの意見
▽さらに校長の求める事項について意見や提案を述べることもできます

【コミュニティ・スクール全体仕組み】



目指すものは「協育」と「共育」 ～地域と協力して共に育てる～

今でも地域の方々から大切に育てられている津奈木中の生徒たち。今まで津奈木中学校では各学年ごとに「農業体験」「職場体験」「福祉体験」などを行ってきました。今回のコミュニティ・スクールではこの各体験活動をより深く行うことで、地域の方々との交流を深めることができると思っています。また、津奈木中学校の生徒に限らず、今の子どもたちは、コミュニケーション能力が低くなってきていると思います。地域に出たり、地域の方々に学校に招いたりすることで、生徒たちのコミュニケーション能力を高めると同時に信頼関係もより深まるのではと期待しています。



今の平国は、私が今まで見たことのないくらい地域からの素晴らしい教育力が残っている地区だと思います。地域の方々には、六方踊りの指導や学校外での声掛けなど児童たちをわが子のように見てくださっています。私は「学校」「地域」「保護者」の3者が助け合い、学び合い、意見を出し合いながら、より良い教育を創り出していくのがコミュニティ・スクールだと考えます。これを機に地域の方々や保護者の方々との意見交換の場が増やせればと思います。そのためには学校から地域に出掛け、地域の方々も気軽に学校へお出でいただけるような一層の親密さづくりに努めたいと思います。



皆さんの代表参画

コミュニティ・スクール

現在の学校は、教育の充実や様々な教育課題の解決に向けて、保護者や地域の皆様方の力を必要としています。これまでも、学校では、教育活動への意見や評価をしていたり、学校評議員制度の実施や保護者に加えて地域の方々の参加による学校応援団を組織して学校の活性化を図ってきました。今回のコミュニティ・スクールは、さらに開かれた学校づくりを推進するために、各学校の学校運営協議会規則にのっとり選任された保護者や地域の代表委員の皆様方の意見や提案、評価などを学校運営に反映させるものです。教育委員会としても各学校の運営協議会が学校経営を活性化させることで、本町の子どもたちの『生きる力』が一層育まれることを願っています。

津奈木町教育長 塩山 一之

